

## THE GOLDMUND EIDOS36 - 2CH SACD/CD PLAYER

- EIDOS 36-2CH      エイドス36-2CH      SACD/CD ステレオプレーヤー  
標準価格 ¥ 3,500,000 (税別)

2005年8月発売開始



### ステレオ再生の最高峰を目指した、2ch専用SACD/CDプレーヤー 「EIDOS36-2CH」

- リファレンスモデル「EIDOS REFERENCE」の開発を通して、ゴールドムンドは様々なフォーマットのプレーヤーに必要なさまざまなテクノロジー、動作メカニズム、D/A コンバーター部、電源部、筐体というそれぞれの要素技術を、すべて徹底的に見直し、再構成しました。その研究開発の成果をレギュラーモデルに取り入れたトップモデルが「EIDOS36」シリーズです。EIDOS36シリーズでは、先行してユニバーサルプレーヤーモデル「EIDOS36-A」をリリースしておりますが、この度、2chステレオ専用SACD/CDプレーヤーがラインナップに加わりました。
- 基本性能はEIDOS36のテクノロジーそのままに、2chオーディオ再生に徹底的にこだわりました。映像回路をすべて取り去り、また、SACDマルチチャンネルにも対応していない、2chオーディオに特化したトップエンドプレーヤーです。電源などのリソースをすべてオーディオ2chに使用したことにより、オーディオパフォーマンスは、また一段と高くなりました。

### 主な特徴

#### ● 超高精度DAC「ALIZE5」によるアナログ 2ch出力

- ゴールドムンドでは「EIDOS REFERENCE」の開発を通じて、SACDのDSD信号までもを包含してD/A変換をおこなう「ALIZE5」モジュールを完成。EIDOS36シリーズに搭載しています。「ALIZE5」では、細部の各パーツ類などの見直しにより、従来に比べタイムレスポンスの速度と精度が向上。よりリアルで、ナチュラルな再生音を獲得しています。（「ALIZE」テクノロジーについては別項の説明を参照ください。）

#### ● シングルエンド/バランス 両アナログ出力装備 DAC回路まで独立した音質設計

- EIDOS36シリーズにはこの「ALIZE5」を3基、合計6チャンネル分標準搭載しておりますが、「EIDOS36-2CH」では、これをすべてステレオ2CH用を使用しています。即ち、1基・2チャンネルを、シングルエンドのアナログ出力用に使用し、残り2基をバランス出力用に使用しています。即ち、バランス出力においては、L側とR側で完全にDACを分離したモノコンストラクションとし他チャンネルの干渉を極限まで排除しています。
- また、デジタルプレーヤーよりバランス信号を得る最良の方法は、同相信号と逆相信号の2つをデジタル的に作ることです。「EIDOS36-2CH」のバランス出力は、片チャンネル当たり1基のDAモジュールを使用することにより、プラス側とマイナス側でそれぞれデジタル部分から回路を独立させ、+側、-側の位相差を極限まで排除し完全なバランス回路としています。

## ●強力でピュアな電源部

- ・4つの独立したトランスによる強力電源は、それぞれゴールドムンド独自のクリーン電源回路“AC Curator”によって、ACラインからのノイズの混入のみならず、各電源ユニット間の干渉が100%カットされます。
- ・「EIDOS36 - 2CH」は電源のリソースをすべて、2chオーディオ回路に使用。EIDOS REFERENCE に匹敵するパフォーマンスを獲得しました。

## ●徹底的に振動を排除するメカニズム

- ・ディスクの読み取り精度を極限まで高めるための要は、メカニズム内で発生する振動をどう抑えるか、また起きてしまった振動をどう排除するかにかかっています。
- ・筐体は、EIDOS REFERENCE と同様、ゴールドムンド製品に採用されている「メカニカル・グラウンディング構造」を完全に具現化。振動対策において並外れた他に類のないパフォーマンスを達成しました。
- ・ディスクトレイには、精密加工した切削アルミニウムを使用し、ローディングメカニズム全体も切削アルミニウムでリジッドに構築。完全な中心軸精度を保つよう超精密に切削された無垢のアルミニウム製のクランパーで強固にディスクをホールドし、演奏中のディスクのブレや不要振動を最小限に防いでいます。
- ・ローディングメカニズムと本体はテフロン加工されたパーツを介しフローティングし、不要共振の影響を排除しています。
- ・見落とされがちなピックアップ部分の振動対策も強化。「ゴールドムンドマグネティックダンパー」と名付けられた、ゴールドムンド独自の磁力を利用したダンピングシステムによりこの部分にメスを入れました。これによりピックアップメカニズムの不要振動を抑え、レーザーフォーカシングの精度を飛躍的に改善させることに成功しました。

## ●マルチリモコン付属

- ・EIDOS36-2CHには、タッチスクリーンタイプのマルチリモコンが付属。必要なすべての機能はリモコンにてオペレーションが可能です。

## Specifications

アナログオーディオ出力 :	シングルエンド(RCA) x 1 L/R
アナログオーディオ出力 :	バランス(XLR) x 1 L/R
デジタルオーディオ出力 :	AES/EBU x 1(PCM)
	SPDIF RCA x 1(PCM)
	SPDIF RCA x 1(PCM・96kHz)
	ST(PCM)
寸法・質量	440(W) x 380(D) x 125(H)mm・20kg

**ユニバーサルプレーヤーモデル「EIDOS 36-A」も併せて発売中です。**

**EIDOS 36-A ¥ 3,500,000 (税別)**

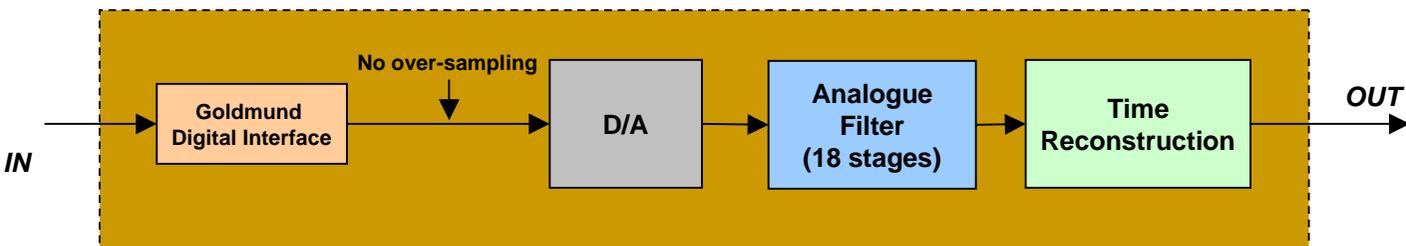
オーディオ 2ch + マルチチャンネル出力

映像回路搭載

## GOLDMUND ALIZEテクノロジー

- 「ALIZE」とは、亜熱帯性気候の風の名前で、この風は大変穏やかで暖かいそよ風として知られています。またこの風は、他の風とは反対の方向に吹くという特徴をもっています。 ゴールドムンドが用いているデジタル技術は、この「ALIZE」という風と同様に、穏やかで暖かいサウンドを提供し、他社のDAコンバーターに用いられているデジタル技術とは全く違ったアプローチをしているところから、ゴールドムンドでは自身のデジタル技術を「ALIZE」テクノロジーと名乗っている理由です。
- D/Aコンバーターの性能の優劣はDACチップそれ自体の性能で決まると思われがちですが、ゴールドムンドはそう考えません。D/Aコンバーターの性能は、チップ自体の性能にはそれほど依存しません。むしろ重要なのは、インターフェースであったり、アナログ部分であるというのがゴールドムンドALIZEテクノロジーのコンセプトです。
- ALIZE回路は下図のように、4つのステージに分けられます。

## GOLDMUND ALIZE TECHNOLOGY



### ALIZEテクノロジーの特徴

#### NO Over-sampling

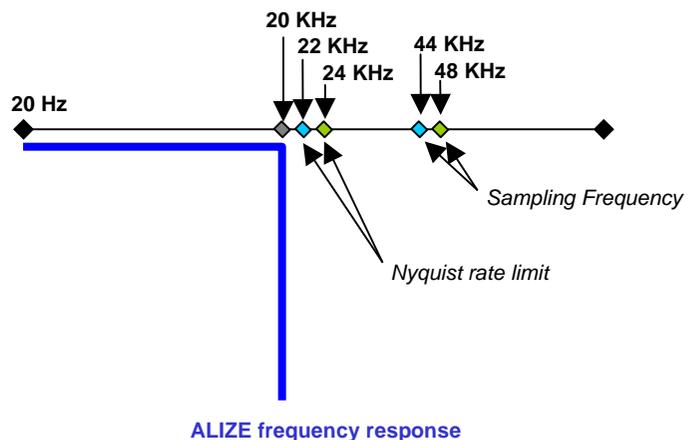
ゴールドムンド「ALIZE」テクノロジーでは、デジタル信号を決してアップサンプリングいたしません。アップサンプリングすることによりデジタル信号中のジッターがさらに増加し、信号データに取り返しの付かない損傷を与えてしまうからです。

#### 超精密アナログフィルター

デジタル信号をDA返還した後、必ずフィルター回路を通る必要があります。サンプリング数を中心としてノイズが原理的に発生するからです。このノイズの影響を避けるには、サンプリング周波数の2分の1の周波数までをカバーするフィルターを掛ける必要があります。

つまり、CD再生においては、サンプリング周波数44.1kHzの2分の1である22kHz以上を完全にフィルタリングするフィルターが本来であれば要求されます。

ゴールドムンドでは18段にもおよぶ超精密アナログフィルターを構成して、20kHz以上を急峻にフィルタリングして、このノイズの悪影響を完全に排除しています。



#### タイム・リコンストラクション回路

DA変換回路とフィルター回路は必ず対になりますが、フィルター回路を通れば、信号の時間情報は狂います。信号の時間情報を再構築する回路が、タイム・リコンストラクション回路です。ゴールドムンド独自のこの回路により、時間軸特性を完全に近い形で揃え出力しています。このアルゴリズムにより、時間軸特性のずれは20Hzから20kHzまでの周波数範囲で100ピコ秒に収まっています。

#### 正確かつ強力なクロックによりデジタルデータをトリートメントするインターフェース回路

デジタルデータ列は、通常ある程度の時間的な揺らぎがあり、これがジッターを発生させる原因となっていますが、ゴールドムンド「ALIZE」テクノロジーでは、D/A回路の前段階でデジタルデータを、正確かつ強力なクロックにより厳密にトリートメントすることによりジッターの発生を阻止しています。